

おうめ

市議会だより

主な内容

- 9月定例会のあらまし……………1
- 市長提出議案の主な内容、議会日誌……………1
- 令和4年度決算の概要……………2・3
- 一般質問……………4～7
- 審議された議案および陳情の議決結果……………8
- 全員協議会から、特別委員会から……………8
- 12月定例会会議予定……………8

No. 265

令和5年(2023年)11月15日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

令和5年青梅市議会定例会 9月定例会

令和4年度決算全会計を原案どおり認定

～一般会計の実質収支は37億7千万円余と過去最大～



令和4年度は、モーターボート競走事業からの繰入金を活用し、消防団の消防車両を10台更新しました。写真は、更新した消防車両です。

令和5年9月定例会は、9月6日から9月29日までの24日間の期間で行われ、初日の本会議では、議案審議の後、一般質問が始まりました。一般質問は、9月6日、7日および8日の3日間にわたって行われ、17人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(4～7面に要旨を掲載)。

上程された市長提出議案は、令和4年度各会計の決算7件、令和5年度の補正予算7件、条例6件、契約1件、人事1件、その他6件の全28件でいずれも原案どおり可決、認定または同意されました。

また、陳情3件が審議され、いずれも不採択となりました(8面に掲載)。

市長提出議案の主な内容

■令和4年度青梅市一般会計歳入歳出決算(2・3面)

■令和5年度青梅市一般会計補正予算(第4・5号)

歳入歳出予算にそれぞれ41億2729万円を追加し、その総額を600億339万9千円とする。

【主なもの】

▽自転車ヘルメット購入補助金(自転車ヘルメット購入補助対象の拡大による増額)

▽送迎バス等安全対策支援事業補助金(保育所等における送迎バス等の安全対策にかかる経費)

▽特定不妊治療費先進医療助成

▽新型コロナウイルスワクチン接種事業(令和5年秋開始接種の実施)

▽文化複合施設等整備経費の設計委託料(市民ホール等の複合施設の整備に向け健康センター等の移転準備にかかる経費)

■青梅市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例(施行日11月1日)

青梅インターチェンジ北側地区にかかる青梅都市計画地区計画の決定に合わせ、当該地区を適用区域に追加するとともに、新たに制限を加える。

■青梅市市税条例の一部を改正する条例(施行日11月1日)

地方税法その他関係法令の一部改正等に伴い、所要の規定の整備を行う。

【個人市民税関係】

- ・森林環境税の導入に伴う規定の整備
- ・給与所得者の扶養親族等申告書における記載事項の簡素化
- ・肉用牛の売却による事業所得にかかる課税特例の適用期限の延長
- ・優良住宅地造成等のため土地等を譲渡した場合における長期譲渡所得にかかる課税特例の適用期限の延長

【固定資産税関係】

- ・長寿化に資する大規模修繕工事が実施されたマンションの固定資産税額を減額する特例措置の割合は2分の1とし、その減額の適用を受けようとする者がすべき申告について定める。

【軽自動車税関係】

- ・種別別の税率区分について、ミニカー区分から3輪以上の特定小型原動機付自転車を除く。
- ・不正を行った自動車メーカーを納税義務者とみなして納税不足額を徴収する場合における環境性能割および種別割の加算割合を35%に引き上げる。

■矢端川今井2丁目調節池整備工事にかかる契約の締結について

【契約の方法】

- ・制限付一般競争入札
- 【契約金額】
- ・7億8430万円
- 【契約の相手方】
- ・成友興業株式会社

議会日誌

【8月】

- 23日 文化複合施設整備特別委員会
- 29日 議会運営委員会

【9月】

9月定例会

議会期間9月6日～29日 (24日間)

6日 議会運営委員会
本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、陳情審議、一般質問)

7日 議会運営委員会
本会議(一般質問)

8日 本会議(一般質問)
予算決算委員会議事

12日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会

13日 福祉文教委員会
15日 予算決算委員会
全員協議会

19日 議会運営委員会
20日 本会議(委員会議案審査報告、議案審議)

22日 総合病院建替特別委員会
25日 予算決算委員会
26日 予算決算委員会
27日 議会運営委員会
29日 本会議(議会運営委員会の中間報告、委員会議案審査報告、委員会陳情審査報告、青梅市選挙管理委員及び補充員の選挙、閉議)

【10月】

- 5日 福祉文教委員会

令和4年度 決算の概要

一般会計歳出決算額 589億5,994万1,452円

令和4年度青梅市一般会計歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（久保富弘委員長、片谷洋夫副委員長）に付託され、9月22日、25日、26日および27日の4日間にわたり審査が行われました。

審査は、担当部から決算概要の補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入りました。続いて歳入についての質疑および総括質疑を行った後、採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

その後、本決算議案は、9月29日の定例議会最終日の本会議において、反対討論、賛成討論が行われた後、採決した結果、賛成多数で認定されました。

予算決算委員会での主な質疑

歳出

議会費・総務費・消防費

問 設置にあたっての市の負担と周知方法について伺う。

答 設置費用については、国の政策のクリーンエネルギー補助金と東京都の総合交付金を充当し賄っている。周知については、設置の際に広報おうめや市のホームページに掲載した。

電気自動車用急速充電器の設置

問 設置にあたっての市の負担と周知方法について伺う。

答 設置費用については、国の政策のクリーンエネルギー補助金と東京都の総合交付金を充当し賄っている。周知については、設置の際に広報おうめや市のホームページに掲載した。

移住・定住促進による効果と今後の展開

問 移住・定住促進プランの取組による行政効果と今後の展開について伺う。

答 青梅に気づいて関心をもってもらったことを第一目標にして様々な事業に取り組んだ。移住・定住促進プランにおける移住者の定義は、市の施策を使って転入された方と位置づけており、令和4年度は19組28名に転入していただいた。

民生費・衛生費

問 地域サロンの参加人数が増加した理由、今後増やす考えがあるか伺う。

答 自治会の回覧や高齢者クラブへの周知、市民セン

労働費・農林水産業費

問 対象の店舗と事業の評価について伺う。

答 市内中小企業者のうち大型店舗スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアその他全国チェーン店やフランチャイズ店等を除き、このキャンペーンに参加意思がある店舗を対象

労働費・農林水産業費

問 対象の店舗と事業の評価について伺う。

答 市内中小企業者のうち大型店舗スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアその他全国チェーン店やフランチャイズ店等を除き、このキャンペーンに参加意思がある店舗を対象

歳入

市税の納付方法

問 窓口納付や口座振替の件数等が減少し、コンビニ納付やスマートフォン決済が増えていることについてどのように評価しているか伺う。

答 税金を納めやすい環境づくりの観点から、コンビニ納付やスマートフォン決済を導入し、納付機会の拡充に取り組んできた。

総括質疑

問 令和4年度決算の総括を

答 決算についての総括と第7次総合長期計画への市長の思いを伺う。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

とした。

キャンペーン期間中は対象店舗で大きく取引が伸びており、新型コロナウイルス感染症や物価高騰で苦しんでいる事業者や市民に対し、一定の効果があったものと考えている。

教育費

スタディ・アシスト

問 事業内容、生徒の参加状況、生徒や保護者からの意見やその検討について伺う。

答 中学3年生の受験対策のための事業で、委託した業者により、生徒の習熟度別にクラス編成し、それぞれの生徒に応じた授業を展開しながら、進路指導に関する実施している。

障害児保育講師派遣事業

問 事業の内容と十分な人員体制であったか伺う。

答 障害児や発達上の課題が見られる児童の保育を行う保育士の支援のため、有識者と公認心理士による市内の保育所への巡回相談を行う事業である。実施方法としては、事前に保育所から提供を受けた対象児童の状況を書類により確認し、施設への巡回当日、対象児童の観察を行った後、担当職員に指導方針等の助言を行っている。

学校教育におけるAED設置の課題等

問 設置台数や場所、使用実績、課題、今後の対応について伺う。

答 各校1台ずつ27台設置している。（東小中学校は校舎が1つのため1台）学校ごとに、利用の可能性の高い場所へのアクセス等を勘案し、玄関や体育館の入口、保健室の前などに配置している。令和4年度の使用実績はない。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

応し、移動場所は校内で情報共有している。しかしながら、いざというとき速やかに対応できるかやプールでAEDを使用しているときに別の場所で緊急な事案が発生した時の運搬等には懸念がある。また、持ち運びできるAED増設の要望もある。

歳入

市税の納付方法

問 窓口納付や口座振替の件数等が減少し、コンビニ納付やスマートフォン決済が増えていることについてどのように評価しているか伺う。

答 税金を納めやすい環境づくりの観点から、コンビニ納付やスマートフォン決済を導入し、納付機会の拡充に取り組んできた。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

者として脱炭素に関する協定を結んだほか、市民が利用できる電気自動車等の充電スポットの設置、水素エネルギー燃料電池自動車の導入、庁用自動車を電気自動車へ更新を図った。

歳入

市税の納付方法

問 窓口納付や口座振替の件数等が減少し、コンビニ納付やスマートフォン決済が増えていることについてどのように評価しているか伺う。

答 税金を納めやすい環境づくりの観点から、コンビニ納付やスマートフォン決済を導入し、納付機会の拡充に取り組んできた。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

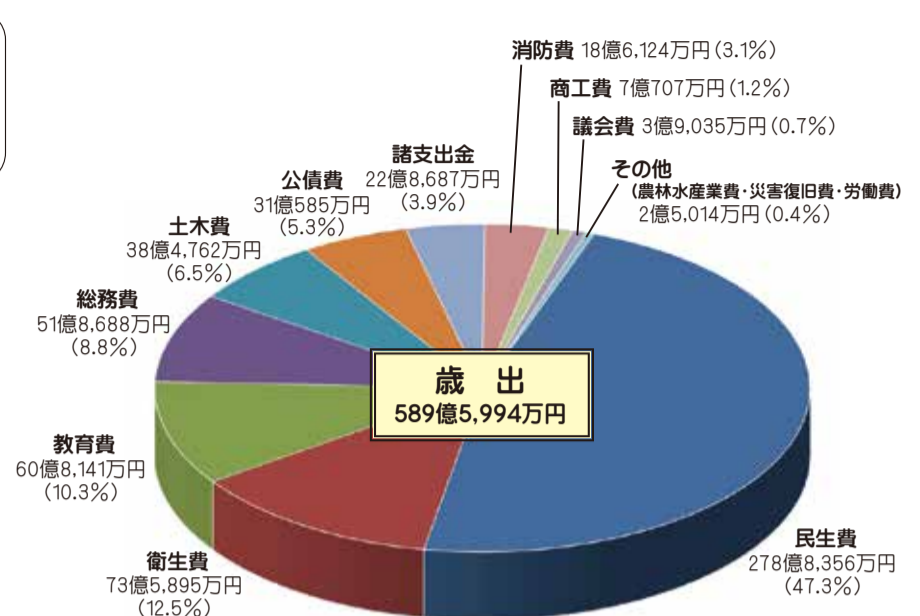
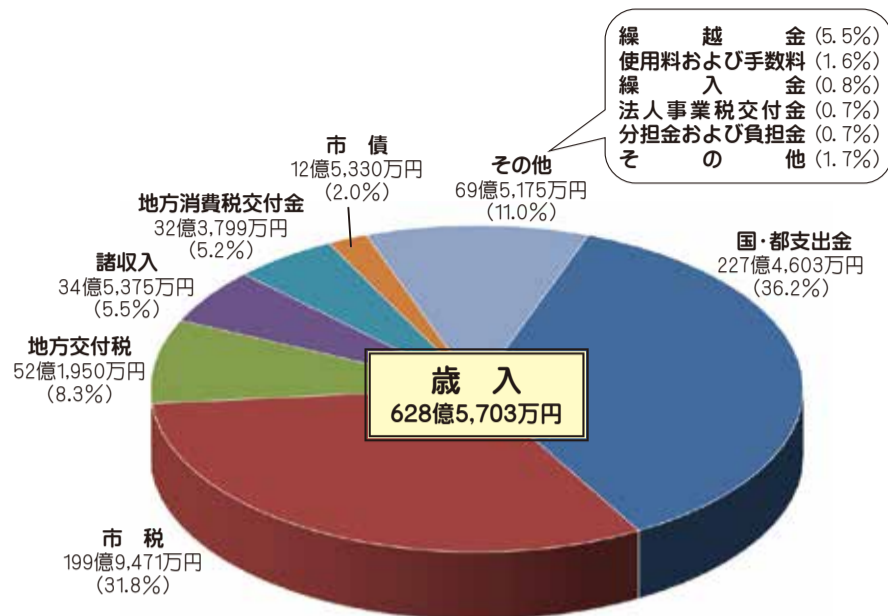
問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

総括質疑

問 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。

答 令和4年度は、長期計画の施策分野ごとに予算化されたほか、11回の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対し、各種施策を実施した。



令和4年度に実施した主な施策

- 総務費**
 - *DXの推進 15,260千円
 - *マイナンバーカード交付の推進 45,784千円
 - *移住・定住の促進 37,704千円
- 民生費**
 - *原油価格・物価高騰対応高齢者家計応援券事業 129,029千円
 - *電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業 744,459千円
 - *乳幼児および義務教育就学児医療費助成事業 331,106千円
- 衛生費**
 - *新型コロナウイルスワクチン接種事業 2,191,502千円
 - *リサイクルセンター基幹的設備改良工事等 161,121千円
- 農林水産業費**
 - *森林ボランティアの育成 1,650千円
 - *原油価格・物価高騰対応農業支援事業 7,815千円
- 商工費**
 - *中小企業振興制度の特例措置の延長等 110,622千円
 - *商店街等活性化事業等への補助 13,273千円
 - *キャッシュレス決済ポイント還元事業 243,900千円
- 土木費**
 - *統合型GIS構築等(衛生費、消防費含む) 15,545千円
 - *幹線道路、生活道路改修 121,537千円
 - *河川の維持改修(維持改修設計委託等6件、補修工事5件) 31,728千円
- 消防費**
 - *消防車両の更新 148,280千円
 - *避難所等への電気自動車を活用した給電装置の購入 7,293千円
- 教育費**
 - *小・中学校特別教室等空調機整備工事 473,831千円
 - *小・中学校校舎外壁および屋上防水改修工事 459,672千円
 - *小・中学校トイレ改修工事 309,049千円

各会計の決算額

会計区分	歳入		歳出			
	金額(千円)	対前年増減率	金額(千円)	対前年増減率		
一般会計	62,857,034	1.2%	58,959,941	0.6%		
特別会計	国民健康保険会計	14,333,498	△1.9%	14,209,024	△1.3%	
	後期高齢者医療会計	3,686,753	13.1%	3,680,984	13.1%	
	介護保険会計	10,651,914	0.4%	10,459,456	△0.5%	
企業会計	下水道事業会計	収益的収支	3,900,203	0.2%	3,883,600	0.7%
		資本的収支	693,000	105.8%	1,891,857	4.5%
	モーターボート競走事業会計	収益的収支	76,126,478	△7.3%	74,008,394	△7.0%
		資本的収支	0	皆減	90,741	21.6%
	病院事業会計	収益的収支	18,727,166	△3.8%	18,003,130	0.2%
		資本的収支	5,333,908	267.9%	6,417,643	168.3%

多摩26市平均との比較(一般会計)

区分	歳出決算額(A)	市税収入(B)	市民一人当たり市税負担(C=B/F)	市民一人当たり支出額(D=A/F)	還元倍率(E=D/C)	住民基本台帳人口(R5.3.31)(F)
青梅市	58,959,941千円	19,994,706千円	153,903円	453,824円	2.95倍	129,918人
26市平均	70,070,806千円	29,010,573千円	179,953円	434,650円	2.42倍	161,212人

監査委員の審査意見
 決算審査にあたっては、決算書およびその他の関係書類が、地方自治法等関係法令に準拠して適正に作成されているか、計数の正否の確認を行うとともに、予算の執行が適正かつ効率的になされているか、事務事業が経済的かつ効率的に行われたか、各基金が適正に運用されたか、などについて審査を実施した。

審査の結果、決算審査に付された各会計歳入歳出決算書等の関係書類について審査した限りでは、法令に適合し、かつ正確に表示されているものと認められた。少子高齢化が加速し、人口減少が進行する中、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しさを増しているが、限られた財源を有効に活用し、引き続き、事務の適正化、効率化に努められるよう願うものである。

【要務事項】
 ①総合長期計画にもとづく各種施策の推進について
 令和4年度は、第6次青梅市総合長期計画の最終年度として、基本方針や施策分野の事業評価を実施した。この結果、重要度が高いものの、市民の満足度が低かったものとして、「公共交通」、「財政運営」、「雇用」の施策が挙げられた。こうした検証結果や課題を基礎資料として、第7次青梅市総合長期計画が策定されたところであるが、総合長期計画は、青梅市にとって、全ての行政活動の基となる最上位計画である。第6次計画の評価で見えてきた課題に誠実に取り組む、全ての施策において市民の満足度が満たされるよう、市政運営を自立的かつ継続的に経営的観点をもって推進するよう要望する。

②健全な財政運営について
 令和4年度の一般会計では、黒字決算となったが、経常収支比率を見ると、前年度から0.2ポイント悪化し、93.3%となった。令和4年度においても、コロナ禍における様々な施策を実施してきたが、その多くは特定財源の確保ができたところである。今後、新型コロナウイルスに関する必要な対応が求められるが、財源を継続的に確保しているのか不透明な状況である。また、物価高騰などに伴い、歳出を抑制していくには厳しい状況であり、財政運営に大きく影響するものと推察する。

引き続き、職員一人ひとりがコスト意識をもって事務にあたり、前例を踏襲することなく、創意工夫して財政の健全化に努められた。

一方、モーターボート競走事業からの繰入金金は、3年連続して20億円を超え、厳しい財政状況にあって、極めて貴重な収入であり、財政運営に大きく貢献している。繰出金の使途を極力明確にして、市民に周知することも検討されたい。

③市税等収納対策について
 令和4年度の市税等収納対策では、早期から文書や電話での催告を行い、完納に至らない場合は、積極的に差押えなどの対応を図った。

しかし、収納率を見ると、市税のほか、国民健康保険税、後期高齢者医療および介護保険料において、前年度を下回る結果となった。

税等の公平負担の原則からも、滞納者には適正に対処する必要がある。引き続き、能率的かつ効果的に進め、滞納者の縮減と収納率向上に努めるよう要望する。

④今井土地区画整理事業の推進について
 令和4年度の今井土地区画整理事業では、圏央道青梅インターチェンジ北側地区に、物流を中心とした新たな産業拠点を形成するため、市街化区域への編入や土地区画整理事業等の都市計画決定に向けた手続を進めた。

広域交通ネットワークの利便性を生かした新たな産業拠点の形成を図ることで、地域の産業振興、雇用創出など経済的な発展を期待するところである。

周辺地域の環境に配慮するとともに、事業者との交渉を円滑に進め、早期の実現に向け推進するよう要望する。

⑤ゼロカーボンシティに向けた取組について
 青梅市では、令和4年度を「脱炭素元年」と位置づけ、「2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すとしている。

令和4年度では、市内4つの事業者とゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定を締結している。ゼロカーボンシティの実現には、市民、事業者および行政が一体となって、継続的に取り組む必要があることから、積極的に情報発信を行い、機運醸成を図るとともに、相互理解のもと計画的に推進するよう要望する。

問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像でご視聴いただけます。



議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。

- (自 民) …自民クラブ
- (公 明) …公明党
- (フォーラム) …市民フォーラム青梅・都民ファーストの会
- (親ガースト会) …都民ファーストの会
- (共 産) …日本共産党青梅市議団
- (維 新) …日本維新の会
- (立 憲) …立憲民主党

市営プールの今後について問う

阿部悦博議員 (自民)



議員 ①今年の利用状況等の評価について伺う。

②わかぐさ公園こどもプールの公共施設等総合管理計画に関連する考察は。

③東原公園水泳場の公共施設等総合管理計画に関連する考察は。

④キッチンカーの導入やポイントカード有効期間の延長等は可能か。東原公園水泳場の駐車場について、考えはあるか。市営プールの未来についての考えは。

教育長 ①好天が続く、事故もなく終了できたことは、市民に楽しんでもらえたものと考えている。なお、指定管理者からは、各施設とも利用者数は減少傾向である、老朽化が激しく、大規模な修繕が必要である、との意見があった。

②費用対効果等を考慮し、存続について検討が必要である。

③他市内プールと比較し利用者が多いことから、維持管理に必要な補修や修繕を考慮しながら、当面の間使用していきたい。

④指定管理者と協議し、検討していく。これまでどおり球技場を臨時駐車場として使用せざるを得ない。

市長 ④公共施設等総合管理計画にもとづき、統廃合を含め、在り方を検討する必要がある。

広域行政について問うー近隣自治体と実のある連携を

議員 ①西多摩地域広域行政圏協議会の成果と課題は。会長市としての役割について伺う。

②公共施設の広域による相互利

用について、市の考えを伺う。
③他自治体の事例をどのように捉えているか。
④広域行政について、総合的な見解を伺う。

市長 ①市町村立図書館の広域利用事業、消費生活相談広域連携事業等、西多摩地域の横断的な住民サービスの向上に取り組んでいる。構成8市町村の人口構成、立地条件、財政規模等の違いから、連携事業の調整に時間を要することが課題である。

本市は40年間会長市として、相互の協力体制構築の調整に努めてきた。

②共に議論を進め、真に地域の住民が利用しやすい形を目指していくべきであると考える。

③更なる人口減少社会における公共施設再編に向けても、有効な手段であると捉えている。

④構成自治体とより強固な連携を深め、共創により、更なる行政サービスの向上のために取り組んでいく。



東原公園水泳場

学校図書館の充実について問う

長谷川真弓議員 (公明)



議員 ①学校図書標準の達成率、学校図書館の新聞配備状況、司書教諭の配置状況について伺う。

②蔵書の廃棄基準、図書購入予算の算定について伺う。
③学校図書配置の促進、新聞の複数配備目標に向けた取組は。

④ICT環境の活用で、調べ学習等への効果が期待されるが、教育長の考えを伺う。

教育長 ①令和4年度の達成率の平均は、小学校12.5・7%、中学校12.5・4%である。新聞の配備状況は、小学校3紙1校、2紙6校、1紙1校、配備なし9校、中学校3紙1校、2紙2校、1紙5校、配備なし3校である。司書教諭は、小学校14校、中学校7校に配置している。

②全国学校図書館協議会の学校図書館図書廃棄基準に準拠している。各校の児童、生徒数を基に積算している。

③学校司書の訪問時間や日数を増やし、授業の支援や図書館の活動が充実した。新聞の複数配備と効果的な活用について、校長会等で周知していく。

④学校図書館とICTの双方の良さを効果的に活用し、学習活動の一層の充実を図っていく。

ヤングケアラー支援について問う

議員 ①ヤングケアラーの社会的認知度向上への取組、支援は。

②学校関係者、小・中・高校生への周知の方法について伺う。

③具体的支援につなげるための、市としてのさらなる取り組みは。

④支援関係機関の情報交換や共有のための場が必要では。

市長 ①子育て支援ガイドや青少年健全育成チラシ等で周知している。地域包括支援センター、学校など関係機関がそれぞれ相談支援し、こども家庭センターへ繋いでいる。緊急性がある場合は、児童相談所とも連携し、子どもの保護等も実行している。

③子育て応援課を担当課として位置づけ、庁内連絡会を開催し

用語の解説

注1…すまいるカード (4ページ・山田(紀)議員)

青梅市自治会連合会が発行し、青梅市自治会連合会に加入している自治会の会員に配付しているカード。協賛している市内の企業、商店等で提示すると、各種の優待サービスが利用できる。

注2…メタバース (4ページ・茂木議員)

インターネット上に構築される仮想の三次元空間。利用者はアバターとよばれる分身を操作して空間内を移動し、他の参加者と交流する。

注3…アウトリーチ (5ページ・中野議員)

援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと。

注4…LNTJ (リープノートレイズジャパン) (5ページ・中野議員)

広く一般市民に対し、持続可能なアウトドア活動の普及とアウトドア環境の保護に関する事業を行い、多くの人々が自然を楽しむことにより、社会教育の推進と環境の保全を図ることを目的として活動するNPO法人。LNTとは、環境に与えるインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラムのこと。

注5…サウンディング型市場調査 (5ページ・中野議員)

民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査。

注6…カエンタケ (5ページ・久保議員)

オレンジ色から赤色、細長い円柱状または棒状で、土から手の指が出ているように群生または単生する毒キノコ。触れるだけでも炎症を起し、食べると死亡する場合もある。

注7…プレコンセプションケア (6ページ・湖城議員)

女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康管理を促す取組。

注8…行政代執行 (6ページ・片谷議員)

行政上の強制執行の一つ。法律または行政処分によって命じられた行為を、義務者が履行しない場合、行政庁が自らこれを行い、または第三者に行わせ、その費用を義務者から徴収すること。

注9…インクルーシブ教育 (7ページ・ぬのや議員)

人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み。

自治会の課題とその対策について問う

山田紀之議員 (自民)



議員 ①自治会数および加入率の傾向、自治会のデジタル化や負担軽減への対応について伺う。
②令和元年以降の経済的支援、自治会活性化推進などの取組と

評価を伺う。

③自治会加入者促進など活性化策を今後どのように進めていくのか伺う。

市長 ①自治会数および加入率は減少傾向にある。情報伝達の高速度や利便性の向上を図るため、令和4年度からデジタル回覧板を導入した。また、自治会連合会の事業計画に「自治会役員負担軽減の推進」が掲げられ、市職員も加わり共に協議している。

②高齢者世帯の見守り活動に対する支援として、自治会振興交付金を一律2万円増額した。また、「すまいるカード」に協賛した青梅市指定収集袋の配布、自治会館の耐震診断と耐震改修工事の限度額の増額、「令和5年度集会所施設省エネルギー機器更新支援補助金」を創設し、自治会活動への支援が図られているものと捉えている。

③自治会連合会と課題を協議、検討し、誰もが安心して暮らしているよう地域全体で見守り、支え合う地域づくりに取り組んでいく。

結婚支援策に関する取組について問う

茂木亮輔議員 (維新)



議員 ①これまでの結婚支援にかかる取組状況について伺う。

②現在、取り組んでいる結婚支援にかかる今後の事業展開は。

③専門性を有する民間事業者と連携し、市内での婚活イベントの実施を目指してはどうか。

市長 ①古くは、お見合い列車近年では、青梅市消防団員と市内保育所の保育士が集う場などを設けていた。平成30年度には、青梅市結婚支援事業補助金交付要綱を制定し、間接的な支援に転換するとともに、民間のノウハウと創意工夫を活用した。令和4年度からは、婚姻をした若年夫婦に対し、結婚新生活スタートアップ応援事業を開始した。

②結婚支援事業補助金は、実績

メタバースの活用について問う

議員 ①子育て分野、地場産業振興、文化振興におけるメタバースの活用状況について伺う。

②メタバースを活用することで広がる、青梅市行政の将来のビジョンについて伺う。

③子育て応援メタバースのような事業への今後の取組は。





一般

市長 ①現在、子育て分野や文化振興では、具体的な活用はしていない。地場産業振興では、商工会議所に委託してセミナーを開催し、メタバースなど先進的な事例の紹介を行っている。
 ②新たな市民交流の場の創出や、物理的な距離や時間の制約を超えた行政サービスの提供が可能となるほか、行政に対する市民参画の活性化も期待される。
 ③交流機会や相談の場として、デジタル技術を活用し、若い世代に受け入れやすい仮想空間を設定することにより、新たな交流が生まれると考え、総合長期計画に加えた。今後、先進自治体の事例等について情報収集を行っていく。

地域包括ケアシステムの構築と地域共生社会の実現に向けて

中野 芳則 議員 (自民)




議員 ①地域包括ケアシステム構築にかかるこれまでの取組は、生活支援体制整備事業の概要、第1層協議体の状況、第2層協議体の位置づけについて伺う。
 ②生活支援コーディネーター、地域福祉コーディネーターの人数と配置、役割について伺う。
 ④地域共生社会の実現に向けた次期地域福祉計画の策定状況は、市長 ①介護予防や認知症施策の推進、医療・介護職による多職種間の連携、日常生活支援体制の整備や高齢者の社会参加の促進、在宅介護サービス基盤の整備などに取り組んできた。
 ②高齢者が地域で安心して暮らし続けるための課題等を協議する場を設置し、地域の実情に応じてその解決に取り組む事業である。第1層協議体は、市全域

の広域的な課題について協議を行っている。第2層協議体は、各支会単位で10か所設置され、地域の実状に合った支え合いについて協議を行う場である。
 ③生活支援コーディネーターは、第1層協議体に1人、第2層協議体に5人配置し、地域の支え合い体制づくりや活動の支援、調整を行っている。地域福祉コーディネーターは、今年度3人に増員する予定であり、地域住民へのアウトリーチ等による継続支援のほか、地域や社会参加に向けた支援などを担っている。
 ④現在、青梅市地域共生社会推進会議で議論していただいております。その議論を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて策定していく。

釜淵公園周辺環境の整備と活用について問う

議員 ①多摩川河川敷の不法投棄への対応、また、LNTJとの連携協定について伺う。
 ②釜淵公園水泳場跡地の活用は、
 ③誰もが快適に川遊びを楽しむための取組について伺う。
 市長 ①他自治体の参考事例をもとに、過去の検討内容を踏まえ、本市に見合った対策を取り入れ強化していく。LNTJと「環境に配慮したアウトドア活動の促進」「地域の環境保全および環境保護に関すること」などについて相互に連携・協力していく。

②京浜河川事務所との連携や、地域住民の声を聞いていくとともに、サウンディング型市場調査の結果等も踏まえ、有効な活用方法を考えていく。
 ③現在、親子を対象とした親水事業を実施している。今後、「川の学校構想」を掲げ、釜淵公園と河川敷を含めた一体的な活用について様々な視点で取り組んでいく。

学童保育・放課後子ども教室について問う

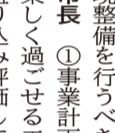
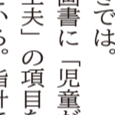
目黒 えり 議員 (都民ファーストの会)




議員 ①学童保育の指定管理者選定基準に、「子どもたち本位の運営」を制定すべきでは。また、委託後の定期的な評価を行っているか伺う。
 ②特性の強い児童への対応にかかる支援員の追加配置、発達障害傾向にある児童のケアの専門研修が必要であると考えるが、見解は。
 ③学童保育所の定員等について環境改善の考えは。また小学校の空き教室の状況は。
 ④学童保育と放課後子ども教室「タヤケランド」を連携し、環境整備を行うべきでは。

基金について問う

久保 富弘 議員 (自民)

小中学校の安全管理について問う

議員 ①杉並区で、校庭に残された釘によりケガをした事故があった。今年度、区の調査では、合計15000本以上の釘やピンが発見・除去された。市の調査状況は。
 ②金属探知機を利用して点検すべきでは。
 ③1校を選定し、徹底的に調査してほしいがどうか。
 ④国や都の補助を求めるとは。たつても、現状の実態調査が必要と考えるが、見解は。
教育長 ①目視による点検で、小・中学校13校から不要な釘等約300本、中学校1校からコンクリート製の支柱の土台が見つかり、除去した。
 ②児童・生徒の安全確保の面から、金属探知機を使用した調査の必要性について情報収集しているため、1校のみの徹底的な調査は考えていない。
 ③統一した方針での対応を考えているため、1校のみの徹底的な調査は考えていない。
 ④目視による調査を実施し、不要な釘等は除去しており、安全性は確保しているものと考えている。国や都の補助制度はないため、動向を注視し、調査の必要性について検討していく。

た経緯は。
 ③公共施設整備基金に目標をもって積み立てていく考えは。
 ④基金の管理・運用について伺う。
副市長 ①東日本大震災発生以降、財政調整基金の確保を優先してきた。今後、目標額を定め、計画的な積み立てを行っていく。
 ②決算収支で余裕財源が生じたこと等から積み立てた。
 ③東青梅1丁目地内諸事業用地における複合施設の整備などを計画しており、余剰財源が生じた場合には、積み立てを行う。
 ④保管については、一部を歳計現金への運用分等として普通預金に、それ以外は、定期預金として運用してきた。現在、利子面で有利な運用を計画している。

市内のナラ枯れ等について問う

議員 ①感染拡大の現状、対応、近隣自治体の状況、伐採本数、費用について伺う。
 ②カエンタケの発生状況、発見した場合の対応、注意喚起、今後の対応、対策について伺う。
 ③国や都からの支援について、また、私有林地権者に対する他自治体の支援事例について伺う。
 ④補助制度を作り、私有林の危険木の除去を促すべきと考えるが、どうか。
副市長 ①被害は顕著に見られる。市が管理する公園、山林は、危険木の伐採を行っている。近隣自治体でも感染が確認されている。令和5年8月末で、伐採本数は398本、費用は3057万円余で、1本当たりは、23万円余に加え、高所作業車等の経費が12万円余となる。
 ②令和4年度に公共用地で21個体発見された。職員が、直ちに除去するとともに、看板を設置し、注意喚起を促した。今後、ホームページでも周知する。
 ③国に対し財政支援等を求めたが、支援策は示されていない。公共用地におけるナラ枯れの伐

採には都の補助金を活用している。稲城市、あきる野市では、私有林地権者への危険木伐採に対する補助を行っている。
 ④人家や道路周辺の危険木に対する補助制度を創設する。

高齢者の自治会退会防止及び地域での支援について問う

議員 ①自治会員減少の要因、高齢者の退会の理由は。
 ②補助金の増額および負担軽減の検討について伺う。
 ③地域の支え合いによる運送支援などへの対応について伺う。
副市長 ①時間の余裕がない、役員を担当したくない等の理由で入会されないことやコロナ禍で地域行事等の機会が少なかつたことも影響している。高齢者は、役員ができない、外出できない等の理由で退会される。
 ②実情に沿った支援に努める。
 ③実施団体等に対し、今後その活動を支援する事業を行っていく。

青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備について問う

8月10日付け東京都告示を受けて

迫田 晃樹 議員 (自民)




議員 ①令和5年8月10日付け東京都告示について伺う。
 ②今後のスケジュール、周辺道路の交通規制等について伺う。

③年内には組合が設立される見込み。組合総会にて、役員、業務代行者の決定、仮換地指定等の議決を経て、来年度早期の工事着手を目指す。農道は、工事着手と同時に通行止めとなる。周辺道路は一部交通規制が必要となるが、なるべく通行の支障にならない施工計画とし、看板を設置する等周知に努める。
 ③工事着手前には開催する予定。対象範囲は、周辺自治会の区域を想定している。周知は、自治会長に回覧等をお願いする。低騒音、低振動型の建設機械の使用などの対策を講じていく。
 ④令和6年1月1日時点で、継続して農地として利用している土地は、市街化区域内の農地として評価、都市計画税も課税する。帳簿の縦覧制度を周知し、問い合わせには丁寧に説明する。本事業が、「活力ある青梅」を牽引するものと確信し、今後も事業の進展に向けまい進していく。



圏央道青梅インターチェンジ周辺



カエンタケ
出典：厚生労働省ホームページ
(https://www.mhlw.go.jp/index.html)

プレコンセッション (妊娠前) ケアについて問う



湖城 宣子議員 (公明)

議員 ①プレコンセッションの認識と啓発について伺う。

②学校教育におけるプレコンセッションケアの取組について伺う。

③国立成育医療研究センターのプレコンセッションケアチェックシートの活用を呼びかけてはどうか。

④検査費用の助成を考慮してほしいがどうか。

副市長 ①重要な概念であるとして捉えている。今後、機会をとらえて、情報発信に取り組んでいく。

②活用は有効と考えるため、市のホームページ等に掲載していく。



市内の小中学校の性教育について問う

議員 ①平成30年の一般質問以降の取組について伺う。

②性教育の必要性をどう捉えているか。

③専門家による講演、授業を行っているかどうか。

④東大和市立小学校のような取組を行っているかどうか。本市でも

総合病院の先生に講演、授業を行ってもらえないか。

教育長 ①都教育委員会の「性教育の手引」の趣旨に沿い、各校で「性教育年間指導計画」を作成し適切な指導を行っている。

②児童・生徒一人ひとりが性に必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行う力を育むことが必要であると考えている。

③都教育委員会では、性教育の授業実施校を指定して、産婦人科医を招へいし、授業を行っている。

副市長 ①市役所、各市民センター、小・中学校の他、管理棟が設置された屋外体育施設など68か所のほか、市立総合病院にも設置している。

②設置や点検、維持に対する補助について伺う。

③民間企業と連携協定を結び、多くで、設備・維持・周知など多



山崎 善信議員 (都民ファーストの会)

市内におけるAEDの設置拡充等について問う

議員 ①現在の青梅市におけるAEDの設置場所及び利用可能時間について伺う。

②設置や点検、維持に対する補助について伺う。

③民間企業と連携協定を結び、多くで、設備・維持・周知など多

方面において、戦略的かつ現実的な施策が展開できると考えるが、見解は。

副市長 ①市役所、各市民センター、小・中学校の他、管理棟が設置された屋外体育施設など68か所のほか、市立総合病院にも設置している。

②設置や点検、維持に対する補助について伺う。

③民間企業と連携協定を結び、多くで、設備・維持・周知など多

多目的トイレにおけるカーテンの設置について問う

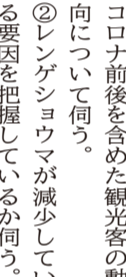
議員 ①市の施設における多目的トイレ、仕切りカーテンの設置状況について伺う。

②異性介護者や同行者に配慮したカーテンの設置について、課題および市の見解を伺う。

副市長 ①一部の施設を除き、障害者用トイレを設置している。また、既存施設の改修等に合わせ、乳幼児用おむつ交換台、オストメイト対応設備も整備している。仕切りカーテンを設置しているトイレはない。

②設置するための十分な広さがないこと、また、防犯面、衛生面の観点から、施設管理者等がいつでも状況確認ができる必要がある点などが課題である。更なるバリアフリー化を目指す中で、仕切りカーテンも新たなニーズのひとつであるとされており、課題の検証のため、本庁舎1階のトイレにカーテンを設置して

御岳山レンゲショウマの保全について問う



レンゲショウマ

議員 ①青梅市の観光行政における御岳山の位置づけ、また、コロナ前後を含めた観光客の動向について伺う。

②レンゲショウマが減少している要因を把握しているか伺う。

③国、都や民間などと連携して早急に対応すべきだと考えるが、見解は。

副市長 ①神社、宿坊が一体となった歴史・文化が存在し、他地域にはみられない特徴的な性質、都心では体験したい自然豊かな多様な魅力を備えており、観光エリアの中でも高いポテンシャルを有している。観光客の動向は、コロナ前に完全に復活したとは言えないが、着実に復活しつつあると捉えている。

②要因の把握に努めているが、関係者からは、シカの食害、ナラ枯れによる日照変化などの影響と推測していると伺っている。

③御岳山地域などによる保全・育成などの御尽力に感謝するため、市としても地域と連携し、国や都と情報を共有するなど、協力体制を整えていく。

外国人も住みやすい青梅に

議員 ①現在、在住している外国人の現状、また、市の外国人への対応、広報などの多言語化の状況について伺う。

②西暦併記を促進しては。

③外国をルーツに持つ子どもへの語学支援の状況は。

④必要に応じて語学支援を増やすことは可能か。

副市長 ①外国人住民の人数は令和5年1月1日現在、2203人である。窓口が多言語に対応したAI機能を有する通訳機を備えている。また、外国語会話が可能な職員による応援体制を整えている。市のホームページには翻訳機能が備わっており、5か国語に対応している。広報の外国語版は作成していないが、ごみ分別のリーフレットは外国語版を作成している。

②社会状況の変化等を踏まえ、西暦併記をこれまで以上に進めていく。

教育長 ③日本語指導、生活指

地域「コミュニケーション」の活性化について問う

議員 ①自治会加入率、自治会加入促進対策について伺う。

②すまいるカードの利用可能店の状況について伺う。

③若者、子育て家庭、高齢者など世代間交流の機会の創出、市民センターや自治会館の活動の場の充実、どのように取り組んでいくのか。

④市民センター体育館にエアコンを設置しては。

副市長 ①加入率は年々低下している。転入者に対し、加入促進チラシとともに、すまいるカードの3か月お試し券を渡すなど、自治会加入を呼びかけている。

②86店舗で利用可能となっている。

③NPO団体や自治会のイベントをモデルケースとし市内に広め、多世代間交流の機会創出に繋げていく。今後も市民センターや自治会館等の活用について、自治会との連携を深めていく。

④現時点では、設置計画はないが、今後の検討課題と捉えている。

コミュニケーションバス導入の真剣な検討を



井上 たかし議員 (共産)

議員 ①青梅市は約20年前にコミュニケーションバスを導入しないと判断したが、コミュニケーションバスやデマンド型交通の費用の試算について伺う。

②導入時とその後の運行経費などの費用や利便性等の比較は行っているか。

③コミュニケーションバスとデマンド型交通は、どちらが費用が高くなるか、市民の要望にあうか、一概には言えない。様々な特性などを分析、比較して示していくことが必要では。

④コミュニケーションバスの導入について、真剣に検討すべきと考えるがどうか。

副市長 ①年間収支の試算では、コミュニケーションバスは千ヶ瀬・河辺地区のルートで3千万円のマイナス、新たな地域公共交通は河辺町1〜3丁目の運行で950万円のマイナスとなっている。

②行っていない。

③市の地域特性や、既存公共交通の態様などを踏まえて、新たな公共交通を選択することが、地域公共交通の充実に資すると判断している。

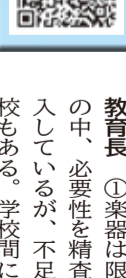
④市では、地域ごとに異なる課題やニーズに対応できるよう、デマンド型交通やグリーンズローモビリティなど新たな移動手段の導入を検討していく。

中学校の吹奏楽部の楽器の充実を

議員 ①吹奏楽部の楽器の状況

対応、課題、また多岐にわたる費用の保護者負担について伺う。

明星大学青梅キャンパス跡地購入について問う



みねぎき 拓実議員 (共産)

議員 ①明星大学青梅キャンパスの運動施設の面積と、移転・廃止、機能の見直しの検討が想定されている施設(案)の面積の比較について伺う。市の総合

②楽器購入費は他の備品と別枠化し、増額の必要があるのでは。

③楽器のリース契約も検討を。

④楽器の今後の整備について、関係教職員等の協力を得て、計画を立てることが必要では。

教育長 ①楽器は限られた予算の中、必要性を精査し各校が購入しているが、不足している学校もある。学校間において楽器の貸し借りをし、有効活用を図っている。楽器は、価格差が大きく、どの程度の楽器をどのように配置するかが課題である。吹奏楽は様々な費用負担があるが、関東大会以上の大会派遣に伴う必要経費の範囲内で負担している。

②現在の枠組みで予算配当するのが適切であると考える。現時点で予算の増額は難しい。

③現在のところ考えていない。

④学校と教育委員会が情報交換を行いながら、連携を進めていく。保管やメンテナンス、修理などは、各学校で適切に行われているものと捉えている。



明星大学青梅キャンパス跡地購入について問う

みねぎき 拓実議員 (共産)

議員 ①明星大学青梅キャンパスの運動施設の面積と、移転・廃止、機能の見直しの検討が想定されている施設(案)の面積の比較について伺う。市の総合

体育館は長期的に存続させるべきと考えるが、総合体育館と明星大学の体育館の利便性や長所・短所についての認識を伺う。各種スポーツ施設の需要を調査し、計画的に整備することが重要と思うが、市の考えを伺う。

②校舎の宿泊施設としての活用、企業誘致についての検討状況や市民意見聴取の現状は。

③昨年度市長が明星学苑を訪問し、交渉期限は来年度以降としたが、それ以降、明星学苑から催促の問い合わせがあったか。交渉期限を設けないことに理解を示したとしても、常識的な範囲はあると思うが市の認識は。一旦、明星学苑に明星大学青梅キャンパス跡地を購入することをお断りすべきだと思うが、市の考えを伺う。市が購入するという選択肢以外に活用方法を考えているか伺う。

副市長 ①今後、課題の整理をはじめ、様々な活用方策等、改めて原点に立ち返り、多くの民意をお聞きしながら、検討をしていきたいと考えている。現時点で一つひとつの細部にわたってお答えすることはない。

②現時点で一つひとつの細部にわたってお答えすることはない。

③問い合わせは受けていない。交渉状況などについて、現時点ではお答えすることはない。

ナラ枯れ被害対策と森林保全について問う

藤野 ひろえ 議員 (共産)



議員 ①森林の持つ機能とナラ枯れの実態把握、対応を伺う。②ナラ枯れ被害に対する国や都の補助事業、要望について伺う。

③民有林に対する補助を実施してはどうか。

④広葉樹の有効利用、林業就業者の育成、就労条件の改善、また、森林経営管理制度への予算と人員体制の整備について伺う。

副市長 ①水源涵養、土砂災害防止などの公益的機能を有するナラ枯れ被害は顕著に見られる。私有林については把握できていないが、市が管理する公園等は、危険木の伐採を行っている。

②都の補助金を活用している。国に対し財政支援等を求めたが、支援策は示されていない。

③人家や道路周辺の危険木に対する補助制度を創設する。

④様々な団体等と連携し、広葉樹の有効活用を努めている。森林ボランティア育成講座の実施により、林業就業者の育成を行っている。就労条件については、市の関与は困難と考える。予算等については、制度の進捗状況を踏まえ、検討していく。



ナラ枯れの被害木

学校図書館の整備、充実について問う

議員 ①学習での図書館利用、情報機器の利用状況、新聞配付状況、学校司書の配置について伺う。

②学校図書館ガイドラインの内容と市の現状、司書教諭と学校司書との連携、地域ボランティアについて伺う。③学校図書館における図書目録

のデジタル化について、中学生の読書の推進について伺う。

教育長 ①課題に応じた調べ学習などに活用している。また、一人一台端末などのICT環境も活用、読書活動の充実と授業改善に取り組んでいる。新聞の配備状況は、小学校3紙1校、2紙6校、1紙1校、配備なし9校、中学校3紙1校、2紙2校、1紙5校、配備なし3校である。学校司書は、1回あたり6時間で、小学校で年間60回、中学校で50回の支援をしている。

②図書館の目的・機能、運営、利活用、携わる教職員等、図書館資料、施設、評価が示されており、これに沿った取組が行われている。図書更新や選定について、学校司書と連携している。学校の実情などに応じてボランティアを募集し、図書の整理等に御協力をいただいている。

③デジタル化は、現在進んでいない。今後、先進自治体の取組について、情報収集していく。

読書の推進については、引き続き学校と連携しながら進めていく。

青梅市地球温暖化対策実行計画について問う

ぬのや 和代 議員 (立憲)



議員 ①環境基本計画の策定に当たり、市民会議を開催し、他自治体の計画も参考にしているか。

②東青梅1丁目地内諸事業用地に整備する施設や総合病院等へ太陽光パネルを設置してはどうか。③沢井・御岳・吉野地区と、河辺駅・河辺下地区のデマンド交通を検討してはどうか。

④青梅駅周辺にスーパーマーケットを誘致できないか。

副市長 ①市民座談会、アンケート、パブリックコメントを実施するなど、広く丁寧な御意見を聞き、計画に反映していく。他自治体の施策を安易に引用するのではなく、地域の特性や課題を把握・分析し、主体的に検討していくことが重要と考える。

②整備基本計画の中で検討する。総合病院ではスペースの確保ができないことから設置していない。

③地域の特性に見合った公共交通サービスの導入を検討する。

④青梅駅前地区市街地再開発組合が再開発ビルへのスーパーマーケットの誘致を目指しており、市も必要か協力を進めていく。

インクルーシブ教育と特別支援教育 - 教師の負担を最小限にして、障害児を分離することなく支援するために -

議員 ①日本の特別支援教育に対する国連の勧告について見解を伺う。

②特別支援教育理解研修・講演会において、講師は「通常学級の担任は、障害児を積極的に受け入れてください」と発言したが、これは市の方針か。

③学級の生徒数の削減、教員の加配もいままま障害児を通常学級に受け入れることは、負担が大きく混乱を招くと思うが、どのような工夫をしているのか。

④インクルーシブ教育の実現に向けた取組について伺う。教育長 ①国の施策に対する勧告であり、教育委員会としてコメントする立場ではない。②インクルーシブ教育の推進に関する考え方が示されたものと捉えている。

③混乱が生じないよう、学校ごとに丁寧に対応している。なお、通常学級に障害児を受け入れる場合には、必要により、教員の加配ではなく、介助員をつけるようにしている。

④引き続き、着実に施策を推進し、すべての生徒が適切な環境で、ともに学び、成長できるように努力していく。

副市長 ①複数の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービスである。市では、各地で進められている社会実験等の内容や利用状況等を把握し、有効性を検証したうえで推進していく。

②地域ごとに異なる課題やニーズに対応するために、柔軟に運行できる新たな移動手段の導入を検討することが適切であると判断した。導入・運行費用が高くなるのが課題である。

③マイナンバーカードを活用したタクシー運賃の助成について、令和7年度の本格実施を目指す。

風評被害の支援策を「食べようよ、常磐もの」

議員 ①福島第一原発処理水の海洋放出について、市の見解は。南相馬市との災害支援、交流事業の実績と評価について伺う。

②風評被害に対する積極的支援は。福島県産海産物を市役所食堂、産産観光まつり等のイベント、商店会との連携により、販売、啓発してはどうか。

③他自治体と情報を共有して支援を行うとともに、ホームページ等で理解の促進を図っていく。

④市として出来る支援を考えたうえで、「常磐もの」を積極的に食べることで、応援していく。

公共交通のデジタル化を「出かけようよ、Maas(マース)」で

議員 ①Maas事業とは何か。青梅市の実施予定は。

②地域公共交通計画にコミュニケーションバスが掲載されなかった理由をおよび導入の課題を伺う。

③先進事例に学び、早急な取組が必要と考えるがどうか。

副市長 ①複数の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービスである。市では、各地で進められている社会実験等の内容や利用状況等を把握し、有効性を検証したうえで推進していく。

女性活躍社会の推進について問う

議員 ①自治会役員に女性が少ないが、どう感じるか。自治会役員に女性を登用した場合のインセンティブは。また、女性が参加しやすい組織作りの例などを市民に情報提供してはどうか。

②教育現場では、産休代替職員の前倒し採用が可能となったが、市長の感想および市での対応は。

③生涯学習部における今後の取組および市民センターとの連携は。生涯学習事業に縁のなかった方等に対し、「きっかけ事業」を工夫してほしいがどうか。

④ジェンダー平等を担当する部署の体制強化、女性主査を配置してはどうか伺う。副市長 ①より多くの女性役員が地域での活躍を期待している。自治会連合会と新たな視点をもつて検討していく。広報おうちにて情報提供していく。

③教育分野での今後のAIの活用について伺う。

④「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、教育委員会が果たす役割について伺う。

副市長 ①各職員が利活用について検討しているところである。②市民向けに提供するには、時期尚早と捉えている。先駆的な取組を参考に、研究していく。

教育長 ①現在、市内小・中学校では導入していない。

③先進的な取組を参考にし、効果的な活用方法を研究していく。④各学校の教育課程が学習指導要領に則ったものになるよう、実施状況を確認し、指導・助言することである。

重層的支援体制整備事業について問う - 地域福祉コーディネーターを中心に -

議員 ①市の地域福祉コーディネーターの活動実績と効果は。

②増員等、更なる機能強化が必要ではないか。社会福祉協議会以外の事業者への委託を検討すべきでは。

③各市民センターへ地域福祉コーディネーターを配置し、福祉総合相談窓口を設置しては。

副市長 ①昨年度の相談受件数は64件であった。支援プランの作成やアウトリーチによる相談支援は実施できていない。②社会福祉協議会と協議して、専任化を進めるとともに、増員や研修の実施など機能強化を図っていく。地域福祉の推進を目的に設置されている社会福祉協議会に引き続き委託する考えである。③令和6年度に配置及び開設できるように検討していく。



出典：政府広報オンライン (https://www.gov-online.go.jp)



審議された議案および陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案◆

【○…賛成 ×…反対 欠…欠席】

Table with columns for district, proposal number, name, decision, and voting results for 24 council members. Includes proposals 29-44 and motions 5-2 to 5-5.

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属6人、自民党5人)、公明…公明党(5人)、市フ…市民フォーラム青梅・都民ファーストの会(無所属1人、都民ファーストの会2人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、立憲…立憲民主党(1人)、維新…日本維新の会(1人)]

◆全会一致で可決、認定または同意された議案◆

Table with columns for district, proposal number, name, and decision. Includes proposals 33-46.

◆令和5年青梅市議会定例会12月定例議会会議予定◆
Table with columns: 月日(曜日), 時間, 会議, 備考. Includes meeting dates from Dec 7 to Dec 27.

Multiple informational graphics:
1. 全員協議会から: 9月15日に開催された全議員協議会での提出事項は次のとおりです。
2. 特別委員会から: 文化複合施設整備特別委員会(8月23日)
3. 総合病院建替特別委員会(9月20日)
4. 政治家、有権者の方々に: 政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。
5. 贈らない 求めない 受け取らない